

個人山行 鉾山町カマンベツ沢

日 時：平成27年8月2日（日）

参加者：山岸C L、藤木（晴）、河村、小山内、相馬、渡辺、藤木（た）、及川、山下、笹山、水江、平林、森、近藤・・・14名

行 程：入溪；8時45分、120m付近河原休憩；9時25分、145m上二股地休憩；10時16分、190m付左岸小川遡上；11時03分林道三段の滝到着；11時37分、昼食：懸垂訓練等発12時48分、林道左斜面で懸垂下降訓練；13時20分～14時10分、駐車場着；14時50分、15時20分見晴公園解散

今日は晴れ、沢には最適な天気、朝8時に見晴公園に14名が集合、車3台と単独2台に分乗、鉾山町の入溪地点の近くに駐車する。沢スタイルを装着、体操後橋の近くから8時45分入溪。



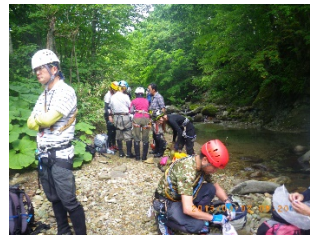
河の水は澄んでおり深間は青く、魚影が見えた、遡行の意欲を掻きたてた。



少し歩くと滑が出て来た、気持ち良い遡行。



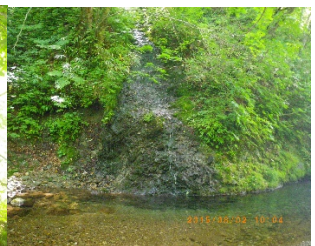
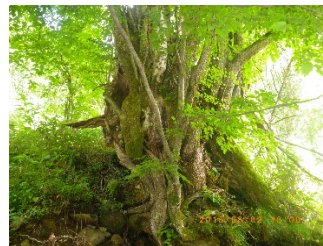
左岸、右岸と歩きやすい河原を探しながら遡行を続ける。9時20分休憩する、砂防ダムが三箇所も出て来た、本当に必要なのか。堰堤の脇を登る。



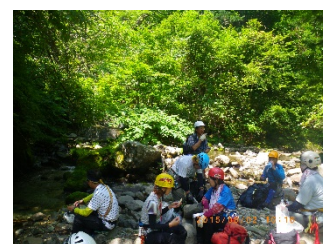
最後の堰堤を超え二股の右股は水量も多くアソイワ沢への流れだ。三段の滝は左側の河を遡行する。



左岸に小檜の大木、何百年も生きていたのか、右岸の崖に細量の滝の滴りを見る。



10時16分上部二股に来た。休憩を採る。ここは水量の多い右股を遡行する。

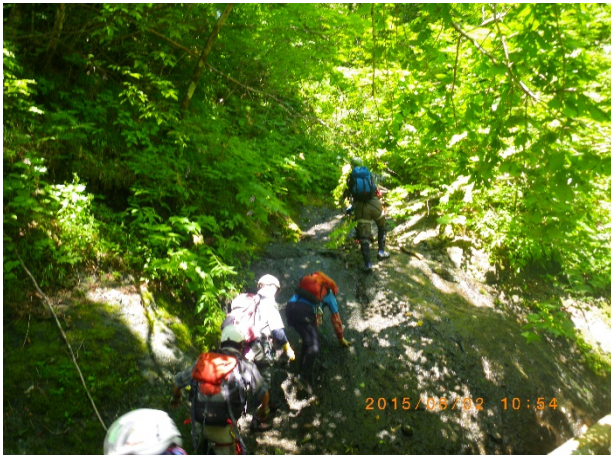


10時25分頃、最初のゴルジュ、辺攣り箇所に来た、皆さん慎重に足場を探し無事に通過。緊張の箇所。

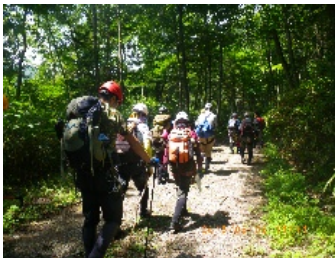


辺攣り箇所も全員無事通過、上部のゴジュールは倒木で埋まり、通行不能とのこと、林道に上がる箇所を探す。

10時53分頃左岸に流れ込む枝沢を発見、この沢を林道まで上がる。



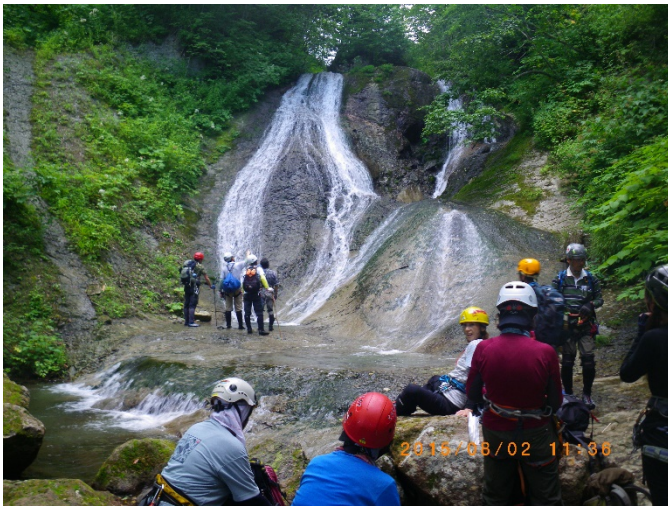
11時10分林道に上がりここから約1・5kmの林道歩きが待っている。暑くてシンドイね。



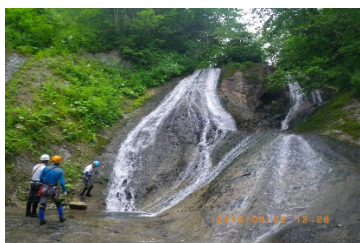
三段の滝近くに40名程

の見学集団に会う。我々は異様な姿に思われたか。

11時37分頃三段の滝に到着。



何時見てもスバラシイ滝だ。ベテランの4名程が滝上から懸垂下降で降下する、ロープが短く真下には降りられない。



初心者は無理、他箇所を探す。昼食を摂る。



12時48分三段の滝を後に、林道を辿り帰路に就く。

30分程歩いた林道左斜面を利用して2班に別れ懸垂下降の訓練を全員行う。



50分間の訓練も終え、足取りも軽く帰路に就く。

14時30分2叉路に到着、駐車場までもう直ぐだ。



駐車場に14時50分到着。美しい沢とヘツリの緊張感、懸垂下降の訓練もでき、満足な一日でした。

リーダー初め仲間に感謝します。有難うございました。